

様式(細則 5-2)

令和 40 年 8 月 7 日

浜田市議会議長

磯の卓

様

議員名 牛 尾 昭

調査研究活動報告書

下記のとおり調査研究のため視察等を行ったので、その結果を報告します。

記

1. 期 間 令和 40 年 8 月 26 日 ~ 8 月 25 日

2. 視察内容 水道に73兆円対応に因る政策勉強会。

3. 視察先 Fracta Japan (株式会社)

4. 調査経費 円

(経費内訳 円、 円)

5. 調査研究活動の概要

不詳にて。



研修目的—「水道インフラ老朽化対策等に関する政策勉強会」

研修先、Fracta Japan株式会社。

期日、8月25日—オンライン。

講師：山下洋輔氏、政策企画部長（元柏市議会議員）

第1回水道インフラ老朽化対策政策勉強会。

山下氏は、10年間柏市議を努め、今年から水道インフラの研究に取り掛かる。

①全国の取り組みについて。

②小規模自治体について。

③予算（補助金）について。

④広域化（公民連携・官民連携）について。

現在、22の道府県で検討している。

全国で31の自治体がとりくんでいる。

朝来市—補助金を使って電子台帳の統合の検討（各々の管路の状態を知る）

岐阜市—（ヴァーチャルタイプ）—AIを使った漏水調査・管路の耐久度診断。

公民連携—財源は、S I I やふるさと納税・SDGS インパク

ト

播磨町—衛星調査法

豊田市—AI の活用で全市が数百万で出来た。

考察、全国で30人の議員が参加して、各々の自治体の問題点について、講師を交えて討論した。特に、コスト削減についての先進事例が、生の声で聴けて参考になった。私の市は、全管路更新に百年かかると問題点提起し、助言を求めた。次回の勉強会が楽しみである。

以上、報告致します。牛尾昭。